

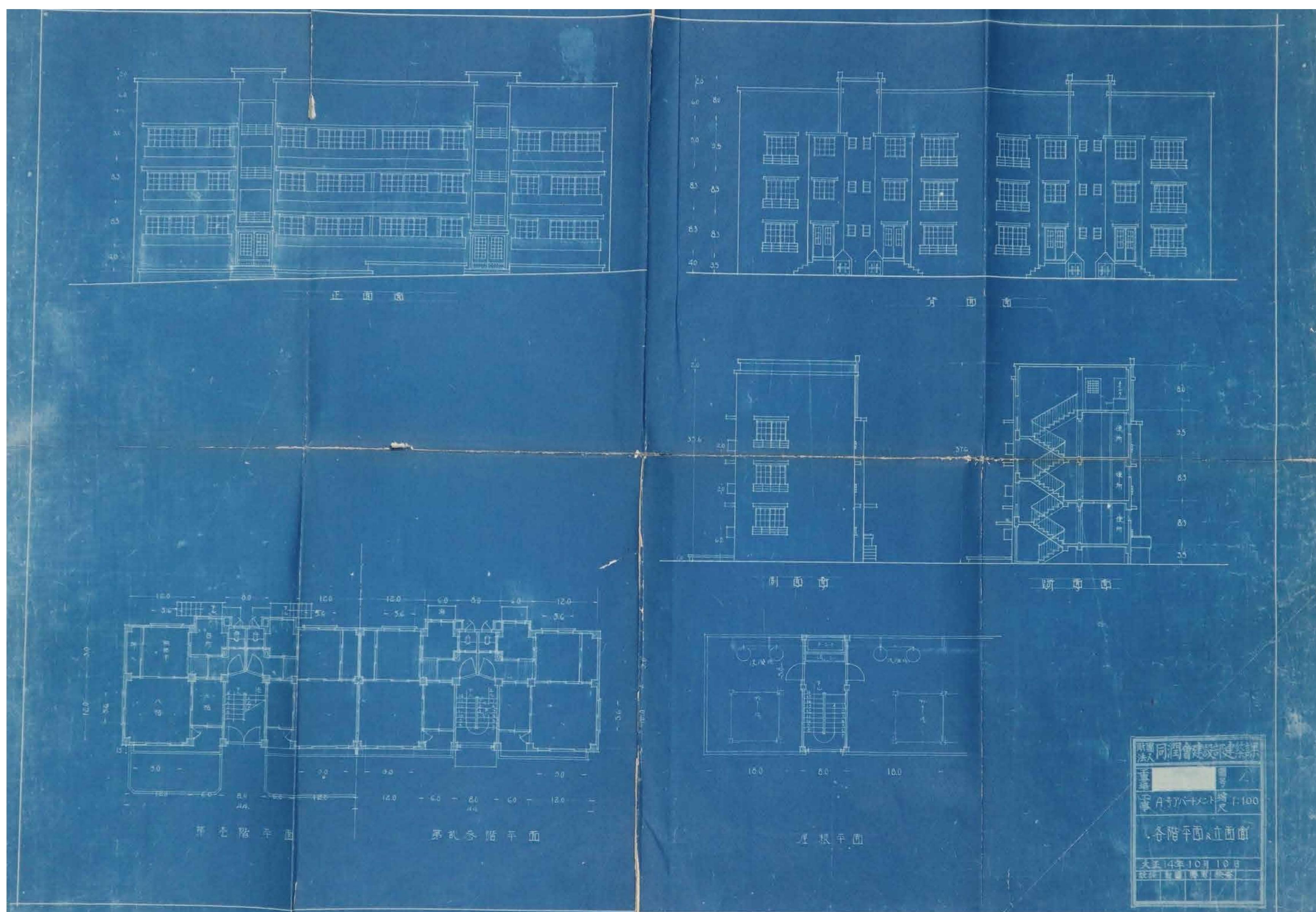
同潤会の記憶

大正13年(1924)、関東大震災後の住宅難に対応するため財団法人「同潤会」が設立されました。内田祥三は、設立当初から同会が解散する昭和17年(1942)まで役員を務めました。

「同潤会」は、東京市・横浜市に、アパートや一戸建て木造分譲住宅、普通住宅を設計・建設し、供給しました。内田自身も一部の設計に当たっていました。

ここに挙げた青焼き図面は、表参道の両側に建てられた「青山アパート」(現在、表参道ヒルズが建っている場所)の平面図です。

『内田文庫』には、「同潤会」アパートの青焼き図面や分譲住宅のパンフレット、『同潤会事業年報』などの資料がたくさんあり、この中には、内田による書き込みがあるものもみられます。



同潤会青山アパート平面図 写真:同潤会編『大正15年度・昭和元年度事業報告』昭和2年より転載